

みまる御むまで三百疋まる大さはも御禮申御たち御むまだい三百疋しん上申みやの御
かたへくわんとうがみ玄ん上御こぶあはまる御さか月下さる、

〔孝亮宿禰記〕慶長十九年正月廿五日戊寅自駿河大御所○徳川禁中年頭之御使大澤□□上洛今

日參内也、禰藏人依召參之自將軍大御所銀子百枚御進上云々、

〔東武實錄〕元和二年正月三日禁裏ニ新正ノ賀儀ヲ獻ゼラシ、當今エ白銀百枚、蠟燭千挺、院
御所工白銀五十枚、蠟燭五百挺、女院御所工白銀五十枚、女御工白銀五十枚、白銀二十枚、長
橋ノ局、黃金十兩、廣橋大納言、黃金十兩、三條大納言、白銀三枚、秋篠大弼、白銀三枚、岩倉木
工頭、

〔孝亮宿禰記〕元和十年正月廿三日戊寅、武家年始之御使上洛、今日參内、大御所御使織田兵部少輔、
自銀百枚御進上物同大樹御使吉良左兵衛督、御進上物同兩御所御使依參内之事、忠利參禁中、女院御所
御進物、自兩御所銀五十枚宛有御進上云々、

〔寛明日記〕寛永八歳正月六日禁裏江爲年頭ノ御祝儀、大澤侍從被仰付之、毎年雖爲四日、依御德日
如斯云々、又御内書日付累年六日也、七日依立春是又如斯、二月十六日禁裏ヘ年頭ノ御使ニ大
澤右京被差遣、今日罷歸御返事申上云々、

〔萬天日錄〕寛文改年中行事下附天和二年追加

一爲年首之御禮、禁裏ヘ上使高家衆毎年被遣之、御進獻之品、

御諱識仁 禁裏元靈ヘ白銀百枚蠟燭千挺、同政仁 法皇御所水尾後ヘ同五十枚、同五百挺、

同興子 本院御所正明ヘ同五十枚、同三百挺、同良仁 新院御所西院後ヘ同五十枚、同和子

女院御所東福院ヘ同五十枚 東福門院女御方ヘ同三十枚 勾當内侍 白銀二百枚 兩

傳奏ヘ 黃金十兩